

7月の 園便り

22年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

もう何十年も前のことですが、子どもを育てることは、何の生産性もないとか、家庭にいる女性は社会とつながっていないとか・・・いわれたりして、子育てに意義を見つけられなかったころ・・・ある日、ふっと、この子たちを産み育てなかったら、20年後30年後の大人はいなくなるのだと思いついて、未来の社会を担っていく人間を育てているのだ、そうだ、子どもを育てるって素晴らしいことなのだ、女性は素晴らしい仕事をしているのだと思ったのです。「女性が子どもを育てるって素晴らしいことなのだと思います」とある男性教師に言いましたら、「ほ～？あなたのお子さんはさぞ素晴らしいお子さんなのでしょうね～？」と反感のこもった言葉を返されてしまって、そのまま口をつぐんでしまったことがありました。そうじゃなくて、子どもを育てていること、そのことに意義があるのだといたかったのですが、私の言い方がまずかったのでしょう、それが伝わらなかったのですね。子どもを育てることは、“偉大な事業”なのだと私は思っています。私たち女性は・・・という語弊がありますね。今は男性も育児休暇が取れる時代ですから、いずれにしても、子どもを育てることは未来の社会をつくることにつながる素晴らしいことなのだと思います。また、子育てをしていると、子どもが成長するだけでなく、実は自分自身も子どもに成長させられるのですね。

子どもを受けとめ、子どもの思いに添うということは、自分自身の価値観が変えられる機会であって、親として育ててもらっている機会なのだと思います。今まで作り上げてきた自分を変えるということは、とても困難であり辛いことですね。でも、この経験は、大人として育てられるかけがえのない経験だと思うのです。

子どもたちとともにいる私たちは、いつも子どもたちに教えられ学ばされ、自分自身を省みさせられます。幼虫探しをしていたとき、「アリはつぶさないでダメなんだよ」と言ったA君に、アリをつぶす・・・！？と思って「どうして？」と聞くと「だってさ、ありは幼虫を食べちゃうんだよ、虫とかも穴の中にひっばっていっちゃうんだよ」とA君、“今この時を生きている”幼児期です。今のA君にとってアリは、大好きな幼虫や昆虫を食べる敵のように思えていることがよく分かります。“アリも生きているんだよ”などというありきたりの言葉を飲み込んだ私、子どもは経験しながら考え学んでいます。A君がいつかアリに興味を持ったら、どんなふうに考えが変わるでしょうね。A君がアリに興味をもって、アリに対する考えが変わっていく、その時も一緒にいられたらいいな～



まっててね

7月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	木	○	2:00		
2	金	○	2:00		
3	土	×	11:30	自由登園日	
4	日	/	/		
5	月	○	2:00		
6	火	○	2:00		
7	水	×	11:30	7月誕生会です。7月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
8	木	○	2:00	じゃがいも掘りに出かけます。	
9	金	○	2:00		
10	土	/	/	第2土曜日	
11	日	/	/		
12	月	○	2:00		
13	火	○	2:00		
14	水	×	11:30	8月誕生会です。8月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
15	木	○	2:00	父母の会教養部主催 園長のお話の会	
16	金	○	2:00		
17	土	×	11:30	自由登園日	
18	日	/	/		
19	月	/	/	海の日	
20	火	○	2:00	個人懇談	
21	水	○	2:00	〃	本日で給食が終わりになります。
22	木	×	11:30	〃	お帰りの時間が早くなります。よろしくお願いいたします。
23	金	×	11:30	〃	お帰りの時間が早くなります。よろしくお願いいたします。
24	土	/	/	第4土曜日	
25	日	/	/		
26	月	×	11:30	第1学期終業式	
27	火	/	/	夏休みです。 *青ばらさんは夏のお楽しみ会を行います。	
28	水	/	/		
29	木	/	/		
30	金	/	/		
31	土	/	/		